



●西側に駅舎があり、下館側の歩道橋で東西を結ぶ。



●駅前広場



●相対式ホーム2面2線の地上駅



筑西市
マスコット
キャラクター
ちくせん

かつては鬼怒川線の発着駅多くの河川に育まれた歴史の地

かつては鬼怒川線の駅でもあった。鬼怒川線は大正12年、鬼怒川で採れる砂利の輸送を目的に開業し、大田郷駅と鬼怒川を結んだ。昭和2年から旅客営業も行われたが、昭和39年に全線廃止となった。

駅前には広場があり、それを囲むように道路が通る。県立下館工業高校の最寄り駅で、近くには旧村名を冠した大田小学校が立つ。駅周辺には古墳があり、鬼怒川、大谷川、小貝川が流れる豊かな土地は、古くから人が住んでいたことが伺える。

駅からのふるさと紀行 関東鉄道常総線

大田郷駅

しも だて くら ごと
下 館 黒 子

●次回は12月26日 掲載予定です。 ※イラストはイメージです。



働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代) <https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

●ファーマーズマーケットきらいち筑西店



JA北つくばが営む農産物直販所。安全・安心・新鮮な地元野菜を提供することを目的に、季節の野菜やフルーツ、ローズポークなどを販売。特売イベントや体験農園など、ふれあいや感動も重視して営業している。



●黒子駅

「ダイヤモンド筑波」が望める母子島遊水地の最寄り駅。今年4月には愛称が「ダイヤモンド筑波駅」となり、駅名表示板に併記された。



●関城跡(国指定史跡)

南北朝時代、小田城と共に南朝方の拠点だった関城。北畠親房はこの城で「神皇正統記」を完成させたと言われる。



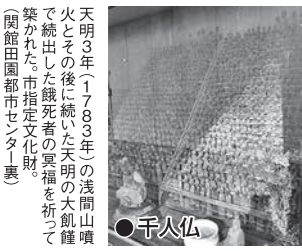
●飛行場通り(下館飛行場跡)

下館飛行場は昭和14年に建設された。滑走路は約1600m。終戦間際にはこの滑走路から特攻隊が送り出された。



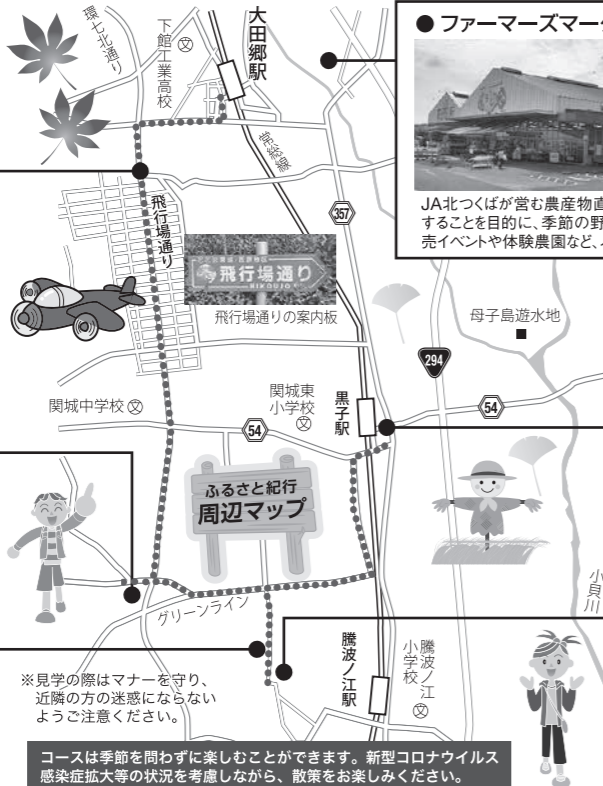
●花田神社

この地では二宮尊徳(金次郎)による復興事業(尊徳仕法)が実施された。神社境内には二宮尊徳像がある。



●千人仏

天明3年(1783)年の浅間山噴火とその後続いた飢饉、天明の大飢饉で続出した餓死者の哀痛を祈って築かれた。市指定文化財。



※見学の際はマナーを守り、近隣の方の迷惑にならないようご注意ください。

コースは季節を問わずに楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください。

●散策コース

駅から西に向かい環七北通りを南下すると歩道橋がある。ここから南側を臨むと道路がまっすぐに伸びている。かつての下館飛行場の滑走路で、現在は「飛行場通り」と呼ばれている。第2次世界大戦の軍事色が強まったころ、大田郷駅と黒子駅の間には「野殿駅」があり、「飛行場前乗降場」と呼ばれた。戦後、滑走路は道路として残り、周辺の跡地は開拓されて畑地になった。飛行場通りを南下すると花田地区がある。花田地区は二宮尊徳が直接指導したことにより、田畑が再開発された場所。地

区内には花田神社があり、隣接する花田田園都市センターには、尊徳が実施した「花田仕法」の説明文がある。次は国指定史跡の関城跡を目指す。途中に千人仏がある。天変地異が起ころぬよう、不動明王をはじめとする五大尊と一体系約15cmの法体が並ぶ姿は厳かさに満ちている。関城は鎌倉時代に築かれた平城。今も土塁の一部が残るほか、関城と運命を共にした城主・関宗祐、宗政の墓である「宝篋印塔」などがある。大田郷駅近くには地域の新鮮な農産物がそろった「ファーマーズマーケットきらいち筑西店」がある。黒子駅には「ダイヤモンド筑波」の写真が飾られた看板があり、幻想的な風景を鑑賞できる。